

(平成25年6月作成)

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	3070	(H.24)No.	3070
-----------	------	-----------	------

事務事業名	学校統廃合に伴う通学費補助金(小学校)		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	学務管理室	中谷 恒雄	

会計区分	事業コード	472504
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 教育費	小学校教育振興費	
項 小学校費	(小事業名)	
目 教育振興費	学校統廃合に伴う通学費補助金	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐくむ教育の充実
	施策	1	学校教育
	小施策	2	義務教育
重点施策コード			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
小学校統廃合に伴う増加した通学費の一部補助により、保護者の経済的負担の軽減を図り、義務教育の円滑な運営を行います。また長瀬小学校閉校(H20.3月)に伴い、スクールバスを運行し、長瀬地区から比奈知小学校に通学する児童の通学手段の確保、通学時の安全と円滑な義務教育の運営を行います。

事業内容
・赤目町長坂地区から赤目小学校に通学する児童の保護者に対し、バスによる通学費の一部を補助します。 ・長瀬地区から比奈知小学校の登下校時の通学手段として、スクールバスを運行しています。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)	H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	・平成24年度対象者3名(赤目) 66千円 ・比奈知小学校スクールバス運行業務委託(年間予定日数215日) 2,604千円	小事業「No.3069 遠距離通学費補助金(小学校)」へ移行	-	-	-

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
<b>直接事業費</b>	<b>2,670千円</b>				
内訳(千円)					
国・県支出金	120				
地方債					
その他( )					
一般財源	(0) 2,550	0	0	0	0
人工数					
職員	0.14人				
臨時職員等	0.00人				
<b>概算人件費</b>	<b>(0千円) 1,078千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>
<b>+ 総事業費</b>	<b>(0千円) 3,748千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>

## 4. 担当室による事務事業の点検 (\*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
・スクールバスなどの代替手段の導入が困難なため、赤目小学校長坂分校の廃校(S.40年)に伴い増加した通学費の一部補助を継続して実施しました。 ・長瀬小学校閉校に伴う登下校時の安全安心な通学手段として、スクールバス運行を円滑に実施しました。	引き続き、通学時の安全確保及び等しく義務教育を受けることができる体制整備が必要です。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	通学費用の補助やスクールバスの運行により、学校教育の円滑な実施を図りました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
--	--------

具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由
補助金を廃止すれば、通学距離に関係なく、等しく義務教育を受けることができる体制を維持することができなくなるため、継続が必要です。

## 6. 事務事業の取組に関する主な市の計画

--